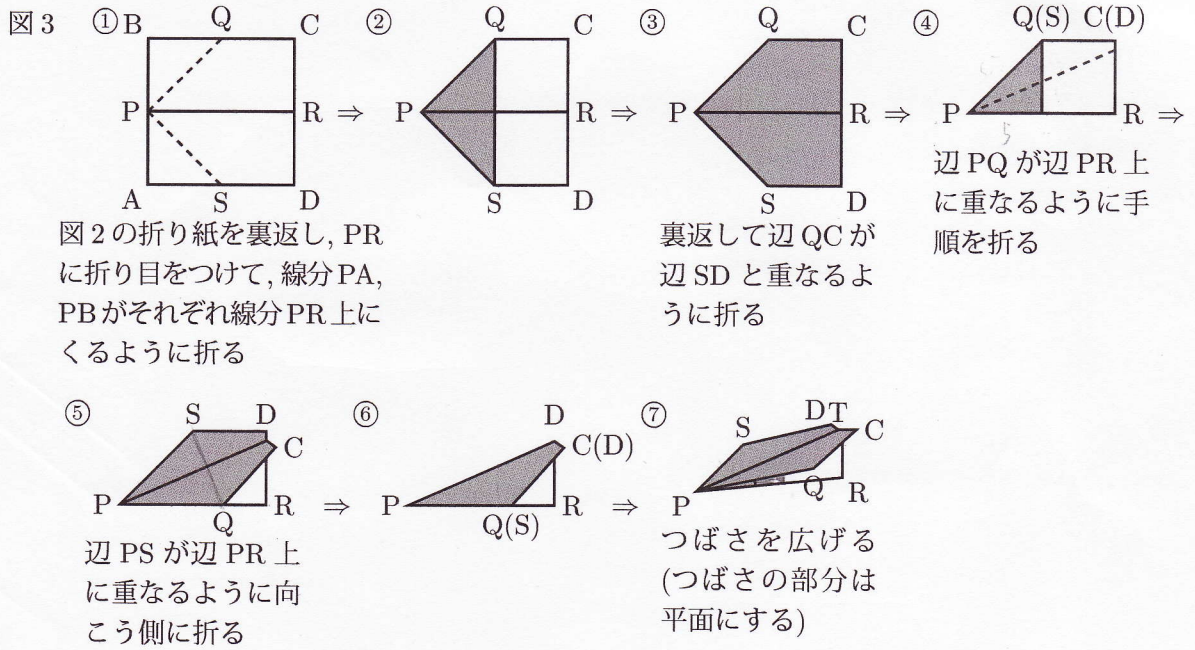
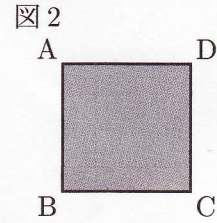
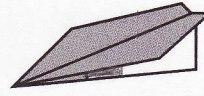




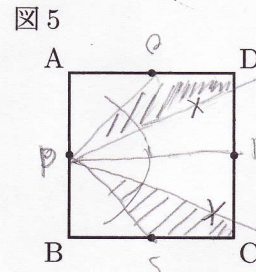
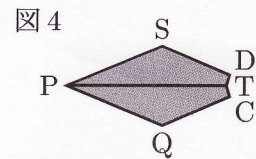
zukei 32



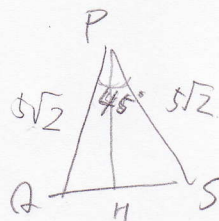
1辺の長さが10 cmの図2のような正方形 ABCD 図1  
 の折り紙で、図1のような飛行機をつくった。正  
 方形 ABCD において、辺 AB, BC, CD, DA の  
 中点をそれぞれ P, Q, R, S とする。図3の①~  
 ⑦は飛行機の作り方の手順であり、図4は図3の  
 ⑦のつばさ PQCTDS を真上から見た図である。  
 次の問いに答えなさい。



- (1) 図4において、辺PQの長さを求めなさい。  $5\sqrt{2} \text{ cm}$
- (2) 図4において、 $\angle QPS$ の大きさを求めなさい。  $45^\circ$
- (3) 図4の四角形PQCTは、飛行機を作る前の折り紙のどの部分になるか。定規とコンパスを用いて図5に作図し、斜線で示せ。作図に使った線は消さないこと。返上の「・」は各辺の中点である。
- (4) 図4において、線分PT, QSの交点をHとすると、 $\triangle PQH$ の面積を求めなさい。



$\angle QPK$   
 $\angle SPR$ の  
 二等分線



$$5\sqrt{2} \times 5 \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{2}$$

$$= \frac{25\sqrt{2}}{4} \text{ cm}^2$$

